

【阪神大震災から三十年…】

様々な歴史を忘れないで…！

明日は阪神淡路大震災からちょうど三十年、節目の年になります。一口に三十年と言うけれど、もちろんみなさんは生まれていなかったわけですから、当時の様子を知るわけはないうすよね。ただ、このところニュース映像などで、当時の様子が資料として流れていまだから見た人も多いと思います。私自身衝撃的だったのは、高速道路が横倒しになったり、崩れた高架橋にバスがギリギリで引っかかったりしていたこと。早朝の地震でしたがあつという間に神戸の街が火の海になっていったこと。報道されるたびに被害が拡大していったこと。亡くなった方々の数がどんどん増えていったことや毎日新聞に亡くなった方の氏名が載っていたこと…等々。本当にたくさんの方が思い出されます。当時流山からお父さんの仕事の関係で神戸に引っ越していた教子さんがいて、とにかく心配で心配で、連絡をとりたいくても電話はつながらない。毎日新聞をみて名前がなかったことにホッとして、確認しようにもどうしようもなくて、とにかく手紙を書いて送ったら、何日かして本人から夜に電話をもらって本当に嬉しかったこと。そ

の時に聞いたのは、生と死が紙一重で、タンスが倒れてきて下敷きになりそうだったけど、たまたま扉が開いて怪我がなくてすんだことや身近な人たちにもたくさん大変な問題が起こっていることなど…、いつ何時、どんなことが起こるかわからないのが自然災害であるということを思い知らされました。ついこの前も学会で神戸を訪れたとき、倒れた高速道路の橋柱が一部残っていたり、港にも亀裂があつたりと、今でも当時の爪痕が残っていました。昨年の能登半島地震や豪雨災害のことも、最近テレビなどでだいぶ取り上げられていたので改めて見た人もいると思います。とにかく災害は突然にやってくる。だから普段から備えておくことが大切なのです。いざという時慌てないように準備をしておくこと。

『**いざは常なり**』、普段から取り組んでいなければ、いざという時に何もできません。自分の身は自分で守るという観点からも、普段の備えが大切になるのです。

災害ばかりではなく、普段の生活は様々な事柄に影響します。三年生は今ちょうど私立入試の真っ只中にありますが、入試という特別な場面で**実力を発揮できるか否かも、実は普段の生活の仕方でも大きく変わってくるもの**なのです。普段からいい加減な生活をしていて当日だけきちんとやろうと思っても、それほど上手くはいきません。面接でも、筆記試験でも同じ事です。色々なことについて、先生方から

日々教わっていると思いますが、今の生活の一つ一つの事柄を見直してみるのも良い機会かも知れませんね。

このところインフルエンザが猛威を振るっています。本校では感染している人は少ないですが、流山市でも様々な学校で学級閉鎖等が出ています。できることには限りがありますが、お互い気をつけていきたいものですね。『**うがい、手洗いの励行**』、『**換気**に気をつける。』、『**適宜マスクを着用する**』、『**湿度を保つ**』、その程度のことしかできませんが、これが一番の対策とも言われます。自分の身は自分で守ること。ぜひ考えてみてくださいね。

【昨日は小正月、松の内も明けました…！】

一般的に一月十五日(関東では七日というところもあります)までを松の内といい、門松などのお正月飾りを飾る期間とされています。また十五日は元服の儀を行っていたことから「成人の日」の祝日は一九九九年まで十五日でした。いずれにせよ、一つの節目となるのがこの時期です。三学期が始まって一週間がたちました。今年立てた目標に向けた取り組みは順調でしょうか。三年生は私立推薦入試の山場が今週末までです。二年生にとっても、残された時間は一年を切ったということ。みなさんには確かな一歩を歩んでほしいと思います。一步一步の積み重ねが大事。常に自分の目標を忘れずにいたいですね。